



3学期のスタートです！

新しい年を迎え、7日（火）には、冬休みを終えた子どもたちとともに、3学期の始業式を行いました。2学期の終盤には、急にインフルエンザや風邪等が流行し、元気になって戻ってきてくれるだろうかと心配をしましたが、12月の頃よりはピークが過ぎている様子で迎えることができました。

本校体育館には、1ヶ月間の工事を経て、エアコンが設置されました。そして、暖房の入った体育館に集まって、始業式を行うことができました。全学年が体育館に集まって話をするのは、運動場よりも子どもたち一人ひとりの表情や様子がよくわかり、声も届きやすく感じました。子どもたちも、静かにするところは静かに、応答するところは適切に表現しながら、聴くことができていました。これからも、状況に応じて、体育館・運動場・zoom と使い分けながら、教育活動をすすめていきたいと考えています。

ファンとセットで8台設置されました。



始業式では、次の2点について話しました。

① エアコンがついた理由

- ・学校の体育館は、災害の際の避難所になっていて、避難してきた人たちが気温に左右されず、少しでも安全に過ごせるため。
- ・少しでも快適に運動や行事ができるようにするため。

② 3学期の始まりとして

- ・2025年（令和7年）になり、巳年となりました。へびは、脱皮をしながら成長する生き物であることから、「新たな自分になる。」という意味のある、チャンスに恵まれる年ともされています。

す。2学期までの自分を振り返り、頑張ってきたことはそのまま続け、自分を少し変えてやってみようと思うことは、ためらわずに挑戦してみてください。3学期の登校日数は、1～5年生の皆さんは、51日、6年生は、48日しかありません。毎日の学習、生活、友だちとの時間などを大切に、新しいことを吸収しながら成長する皆さんの姿が見られることを楽しみにしています。

1・17 30年前のできごとを教訓に



昨年の元旦は、予期せぬ能登半島地震が発生し、被災された方々の状況に胸が痛くなりました。まだ、完全な復興には遠く、今も不自由な生活を余儀なくされている人々のことは、他人事とは思えません。阪神間でも、30年前の1月17日、阪神淡路大震災を経験しました。折に触れ、予期せぬ災害から身を守り、生き抜く方法を学ぶことは、命を守る上で大切なことです。そこで、1月17日には、地震の避難訓練を実施し、有事を想定した「引き渡し訓練」を行います。引き渡し訓練に関しては、地震のみならず、大雨や暴風等、様々なケースが想定されることから、引き渡し場所についても、晴れの場合は運動場で、雨の場合は教室で行います。詳しくは、12月に配布しておりますお手紙でご確認ください。お忙しい中とは存じますが、訓練の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。